

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	自転車等対策事業			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民・事業者	目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。			
事業概要	・自転車駐車場維持管理、運営					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	09	0002 自転車等対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
						R 4 事業費
		直接事業費	32,987	31,010		
		概算人件費	1,715	1,715		
		トータルコスト	34,702	32,725	0	0
		国庫/県支出金	0	0		
		その他	32,987	0		
R 1 概算人件費		正規職員		0.49 人	1,715 千円	
		再任用職員		0 人	0 千円	
		会計年度任用職員		0 人	0 千円	
		その他		0 人	0 千円	
		合計			1,715 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 駐輪場利用台数（台）	92,000	94,826	92,000	92,000	92,000
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 中心市街地等の整備・誘導	4.25	2.48
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 自転車駐輪台数：79,080台（北口：38,986台、南口：35,411台、臨時：4,683台）、バイク駐輪台数：15,746台  
 ・放置自転車の抑制等により駅前空間を中心とする環境整備が図れた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	交通安全対策事業			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民・事業者	目的	町民の交通安全指導の普及高揚を図るとともに、交通安全施設の維持管理を行い、交通事故防止に努める。			
事業概要	・二宮町交通安全対策協議会の運営 ・交通安全思想普及啓発 ・道路反射鏡維持管理					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	09	0001 交通安全推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
						R 4 事業費
		直接事業費	2,331	1,485		
		概算人件費	972	972		
		トータルコスト	3,303	2,457	0	0
		国庫/県支出金	0	0		
		その他	2,330	0		
R 1 概算人件費		正規職員		0.24 人		972 千円
		再任用職員		0 人		0 千円
		会計年度任用職員		0 人		0 千円
		その他		0 人		0 千円
		合計				972 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域の安全力の向上	3.77	3.10
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 小学校で交通安全教室等の開催を実施、交通安全期間にキャンペーンを実施。  
 道路反射鏡の安全性確認と効率的な運用を行った。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	防犯対策事業			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民	目的	町民の防犯思想の普及高揚を図るとともに、防犯施設を整備し犯罪のない明るい街づくりに努める。			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯灯維持管理</li> <li>防犯思想の普及啓発</li> </ul>					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	09	大事業 0003 防犯対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	18,240		17,882		
	概算人件費	1,153		1,153		
	トータルコスト	19,393		19,035		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	4,020		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.31 人		1,153 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,153 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 防犯灯設置基数（基）	-	2,362	2,366		
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域の安全力の向上	3.77	3.10
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等  
 施設の安全性確認と効率的な運用を行った。  
 地域、団体、行政の連携のもと、防犯活動・見守り活動の継続的な実施を推進した。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	防災訓練・自主防災組織育成事業			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	防災訓練を実施し、住民の防災思想（自助・共助の精神）の向上を図る。			
事業概要	・総合防災訓練、自主防災組織訓練の実施					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	11	0003 防災訓練・自主防災組織育成事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
	直接事業費	136		201		
	概算人件費	3,817		3,827		
	トータルコスト	3,953		4,028		0
	国庫/県支出金	20		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.93 人		3,817 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			3,817 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 地域活動に参加している人の割合【戦略】（%）	26.5	26.5	27.0	27.5	28.0
② 消防団員の充足率【戦略】（%）	97.4	97.4	98.7	100	100

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 共助活動の推進	3.93	3.08
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 総合防災訓練：1回、自主防災組織等訓練：24回、防災指導員研修5回、防災講演会1回、その他保育園等：4回、防災訓練等を実施し、住民の防災思想（自助・共助の精神）の向上を図った。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	防災施設維持管理経費			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・町	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。			
事業概要	・防災施設維持管理 ・防災機器の整備拡充					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	30,286		34,213			
	概算人件費	1,088		1,088			
	トータルコスト	31,374		35,301		0	0
	国庫/県支出金	7,562		0			
	その他	0		0			
R 1 概算人件費	正規職員			0.27 人		1,088 千円	
	再任用職員			0 人		0 千円	
	会計年度任用職員			0 人		0 千円	
	その他			0 人		0 千円	
	合計					1,088 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 公助活動と危機管理体制の強化	4.13	2.93
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 備蓄食料や防災無線等の更新を行い機能維持を図った。食料については、廃棄物の削減が問題となっており、可能な限り訓練等での消費を図っていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	防災対策経費			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・町	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。			
事業概要	・二宮町防災会議の運営 ・防災資機材の整備拡充					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	11	0002 防災対策経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	3,244		6,028		
	概算人件費	1,660		1,660		
	トータルコスト	4,904		7,688		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.39 人		1,660 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,660 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 防災会議開催日数（日）	1	1	1	3	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	公助活動と危機管理体制の強化	4.13	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 防災対応機器の更新の実施及び図上訓練等による職員防災体制の見直しを実施。台風による避難所開設を得て、風水災害に対応するための防災資機材の見直しを進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	災害時応急救護所運営事業			所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・医療関係	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。			
事業概要	・災害時医療対策委員会の運営 ・災害時応急救護所の設営訓練					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業 0004 災害時応急救護所運営事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	761		1,413			
	概算人件費	2,118		2,118			
	トータルコスト	2,879		3,531		0	0
	国庫/県支出金	0		0			
	その他	0		0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.53 人		2,118 千円			
	再任用職員	0 人		0 千円			
	会計年度任用職員	0 人		0 千円			
	その他	0 人		0 千円			
	合計			2,118 千円			

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	公助活動と危機管理体制の強化	4.13	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 災害時医療会議3回実施。中央応急救護所訓練1回実施。医薬品の備蓄量が増加傾向にあることから、必要性を考慮した備蓄や協定による外部管理等によるコスト削減を検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			